

承認番号	3817
研究課題名	房室弁疾患に対する手術成績に関する多施設共同前向き登録研究
研究の意義・目的	<p>房室弁疾患に対する手術は、この10年間大きな進歩を遂げ、良好な早期成績が報告されるが、その真価は、10年を超えて評価されるべきものである。</p> <p>本研究は、大阪公立大学心臓血管外科及び共同研究施設において、2008年1月以降に房室弁疾患に対して様々な手術を行われた患者あるいは2020年3月31日までに手術を行う患者を研究対象とし、2025年3月31日まで追跡調査を行い、様々な患者情報を収集・解析する、多施設共同前向きコホート研究である。</p>
研究を行う期間	承認後～2025年3月31日（西暦）
研究対象者の範囲	大阪公立大学心臓血管外科及び共同研究施設において、2008年1月以降に房室弁疾患に対して様々な手術を行われた患者あるいは2020年3月31日までに手術を行う患者のうち、参加拒否の申し出がなかった患者を研究対象とする。房室弁疾患以外の同時手術の症例を含む。
お願いする内容	<p>全症例において、下記項目を本研究に使用させていただき病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、術前、術後の4DCT、心エコー図検査記録所見、術中所見等</p> <p>また、弁関連死亡回避期間や生存期間、弁関連合併症回避期間(再手術回避期間、僧帽弁位逆流の非再発期間等)を評価させていただきこれらのデータはEDCシステムにて管理する。</p>
いただいた使用の情報管理について責任者	データセンターとして、大阪公立大学医学部 心臓血管外科学講座 病院講師 左近慶人を配置し、EDCシステムを管理する。